

危機管理 フォーラム

入場無料

～世界の緊張と足元の災害 いま、私たちにできること～

令和
8年 **1.24** 土
13:30～16:00 (13:00開場)

会場

石川県地場産業振興センター
〈新館〉コンベンションホール (地図は裏面)

中継

奥能登総合事務所 42・43会議室
のと里山空港 4F

申込
方法

裏面の申込方法をご確認のうえ、県電子
申請システムまたはメール・FAXでお申
し込みください。

申込
締切

令和
8年 **1月21日(水)**

近年、自然災害が頻発・激甚化しており、令和6年1月の「令和6年能登半島地震」、9月の「令和6年奥能登豪雨」も記憶に新しいところです。また、北朝鮮では弾道ミサイルの発射が繰り返されています。こうしたことから、県民の生命、身体、財産を守るためには、行政をはじめとして県民、地域、企業等が共に力を合わせ、防災・減災の意識を高めることが重要です。

本フォーラムを通じて、防災や国民保護といった「危機管理」における国や自治体、県民等の役割についての理解を深めていただくよう、県民の皆様をはじめ、広く関係機関の皆様のご参加をお待ちしております。

【講演】第1部 国民保護

国際情勢からみるこれからの日本

日本大学
危機管理学部 准教授

なかばやし ひろ のぶ
中林 啓修 氏



略 歴

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程単位満了修了。独立系シンクタンク、明治大学危機管理研究センター勤務を経て、沖縄県知事公室地域安全政策課主任研究員を務める。その後、ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター主任研究員、国土舘大学防災・救急救助総合研究所准教授を経て現職。そのほか、福島原発事故独立検証委員会ワーキンググループメンバー、国会東京電力福島第一原子力発電所事故検証委員会事務局調査員、陸上自衛隊教育訓練研究本部客員研究員などを務める。専門は危機管理学、国際関係論、ガバナンス理論、非伝統的領域を含む安全保障研究。

【講演】第2部 防 災

能登半島地震に学ぶこれからの防災 ～「平常時」が暮らしと地域を守る力になる～

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科 教授

さかもと ま ゆ み
阪本 真由美 氏



略 歴

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授。専門は、減災コミュニケーション、防災教育、地域防災。石川県令和6年能登半島地震対策検証委員会委員。博士（情報学）。人と防災未来センター主任研究員、名古屋大学減災連携研究センター特任教授を経て現職。ひょうご震災記念21世紀研究機構理事、日本災害復興学会理事、令和6年防災功労者防災担当大臣表彰受賞。著書に「阪神・淡路大震災から私たちは何を学んだか：被災者支援の30年と未来の防災」慶應義塾大学出版会2024年、「地域が主役の自治体災害対策：参加・協働・連携の減災マネジメント」学芸出版社2025年など。